

第18回 議会報告会を開催

平成28年8月6日(土)、中央公民館にて第18回議会報告会を開催しました。当日は約50名の参加で、第2部の「市民との意見交換会」では、次のような質疑・応答がありました。

昭和交番の存続を

問 昭和交番の廃止問題について、これまでも存続を求めてきたが、議会として、関係部署への粘り強い働きかけを。
答 今後、議会としてしっかりと陳情活動を行っていく。6月定例会では、再度昭和交番の存続を求める意見書を全員一致で可決し、知事、県警本部、安城警察署へ提出した。

上重原恩田地区にバス

問 市とのワーキンググループの協議の中でも、工業地域としての開発で話がまとまらない場合は、白紙撤回とするの見解もある。さらに県としても、この地区の開発は、商業地区、住居地区いずれも可能としている。今後地権者の意向を十分反映し、商業地区としての開発に方向転換を。
答 議会としての決定はできないが、一般的に地権者の同意がなければ開発はできない。意見集約をしながら、市へ現状説明を求め、状況をきちんと把握したうえで、今後議論を深めていく。

問 上重原恩田地区は、都市計画マスタープランにおいて



産業系拡大市街地として謳われているが、非常に曖昧なものと感じる。また、情報公開も不十分。特に、マスタープランは市民にとって情報を得るには、ハードルが高すぎる。情報公開について、議会からも改善要求すべき。
答 当該地区の市街地編入については、平成19年ころから議論がスタートしたが、リーマンショックで計画が頓挫し一時中断した経緯がある。現在施行中の都市計画マスタープランにおいて恩田地区は、産業系拡大市街地としての方針が示され協議を進める中で、

考えの違いはあるが、歩み寄りではできている。情報公開は、議論を深める上で重要。

積極的な観光振興を

問 産業のない当市において観光振興は重要。議会としても、政策提言にとどまらず、具体的な実行計画も示し、観光振興計画策定に対しても積極的に関与すべき。
答 観光振興計画策定に関わる審議会は、委員が決定し平成29年4月施行に向けていよいよ議論が始まる。この計画は議会の議決事件として条例規定をしていないが、重要な計画として議会も認識している。一般質問、委員会審査を通じてしっかりと関わっていく。

問 かきつばた園への来訪者の目的は、かきつばたの鑑賞。2年程度休園し、花の回復育成をして、整備改修すべきでは。
答 かきつばたは、当市の重要な観光資源。育成管理については、市と保存会が意見交換を行っている。休園については政治的判断が必要であり、影響も大きく慎重に議論すべき。

問 街並みデザインプロジェクト

クトが始動し市民部会も開催された。100年に一度のまちづくりといわれるが、現在の若い世代へのアプローチと意見聴取が必要では。
答 議会としても、若者の意見を聴き次世代のための将来ビジョン策定に向けた議論を深める。

募集

市議会だより

こんにちは知立市議会です

表紙写真

市議会だよりの表紙の写真を募集します。

季節の風景、まちかどで見え
(知立市内)

応募方法
郵便番号、住所、氏名、電話番号、写真の撮影場所、撮影日時、写真の説明(タイトル等)をご記入の上、メールまたは郵送(LLプリント)にて、知立市議会事務局(市議会だより編集委員会)までお送りください。

応募の条件
カラー未発表のものに限ります。被写体が人物の場合は、本紙掲載について、本人(未成年の場合は、親権者)の同意が必要です。写真は返却致しません。
*採用作品につきましては本誌の表紙に掲載致します。

締切 平成29年2月1日号 ▶ 12月20日まで
平成29年5月1日号 ▶ 3月31日まで

表紙への掲載内容
採用写真、タイトル、応募者氏名、住所(町名まで)

送り先
知立市議会事務局(市議会だより編集委員会)
〒472-8666 知立市広見三丁目1番地
電話 95-0137 FAX 83-5565
E-mail: gikai@city.chiryu.lg.jp